

令和 8 年度

学業特待生選抜 S 日程

国語

出題意図

I	安岡章太郎「コンタの上に雪ふりつもる」(江藤淳編『犬』作品社)を素材とした。 本問は、一人称で書かれた随筆における語り手の心理や、出来事の時系列の推移を正確に読み取る能力を問うものである。 特に、問九や一〇は上記の意図に基づいて出題した。 また、問四、七は文脈を踏まえ適切な語句を選ぶ能力を問う問題、問八は、語り手の様子を客観的表現から読み取る能力を問うものである。
II	久野愛「感じる歴史」(『世界思想』2023 年春号)の一部を素材とした。 本問は、テキスト上の語句に付与された、独自かつ限定的な意味合いを正確に読み取る能力を問うものである。(問一、三、四) また、問六、八は筆者の感覚や考えを適切にとらえられているかどうかを測ることを意図している。 そして、問九は、タイトルとも呼応する、筆者の歴史観を正確に把握しているかどうかを問うために出題した。
III	村田沙耶香『マウス』(講談社文庫)の一部を素材とした。 本問は、現代の小説テキストにおける作中人物の一人称の語りから、その心理、様子の描写を正確にとらえる能力を問うために出題した。 問二、四、五、九は上記のねらいに基づいた問題である。 また、問一、問七は、語句を別の表現に置き換えるための言語知識を問う問題、問三は漢字知識、問六は、比喩的表現を正確に読み取る力を問うものである。